

はっぽう

議会だより



- 3月定例会ダイジェスト 3ページ
- 予算委員会質疑 6ページ
適切な新年度予算かをチェック
- 一般質問 8ページ
議員が町政の状況や方針について質問！
- 議会全員協議会 16ページ
- シリーズ「起こす継ぐ」 18ページ
第4回「有限会社 小林水産」
- 編集後記 18ページ

3月
定例会

起こす 継ぐ

町の産業を担う 若手経営者たち 第4回

有限会社 小林水産

社長 小林 優大 さん



八森地区で昔から郷土料理として伝統的に食べられてきた「ギバサ」は、ホンダワラ科のアカモクという海藻ですが、町の特産加工品の「ギバサ」の原料海藻の増殖のため自ら採捕し、加工食品製造も手掛け、資源管理活動の実績が評価され「水産庁長官賞」を受賞した小林優大さんにインタビューしました。

八森地区の岩場では、白神山地から流れ出る伏流水が海水と混ざり良質の「ギバサ」が育つけど、先輩漁業者が言うには昔は船外機が航行できないほど生えていたのに、今では生えている範囲が少なくなって、採る期間を少なくする対応をしているんだと聞き、自分も自らその状況を確認し繁殖範囲が少ないと感じたため、県水産振興センター、ギバサ増殖会の協力のもとギバサ増殖試験に取り組みました。

何故ギバサが生えないか知るために潜水して生える海底観察を通じて、その対応を検討した結果、他の海藻による覆われと砂泥の堆積が原因と実感したんです。そこでクレーパー等で除去したところ、しばらくしてギバサの群落の発生が確認され増殖試験の取組みに自信を得ました。今後、吸引サンダー等の動力機械を導入するな

どして、ギバサの定着しやすい岩礁域を多く確保し、5年程度のローテーションで採捕できる藻場造成を目標としています。

また、この藻場造成作業をしたことによってアワビや巻貝の定着も確認されるほか、ハタハタの産卵場としての価値も見えてきました。

ギバサ加工品製造も手掛ける会社としても原材料の確保は長年の懸案であり、原材料確保のため西津軽産と八森産を使って製造していますが、この増殖技術を使って増殖範囲が拡大し全量八森産で製品製造を出来るように頑張りたい。

そして、この取り組みを話題として八森産ギバサをもっとPRし、町の名産品としてネット販売や全国各地の物産展などで販売拡大して販売量が増えれば、これからの若手漁業者の収入増加と漁業就業の励みにもなると思います。



以上のように話してくれました。町も議会も漁業支援や若者支援に理解をしてほしいと要望されました。(取材：山本 優人)

有限会社 小林水産
〒018-2609 八峰町八森字門の沢122-1
TEL：0185-78-2423 FAX：0185-78-2922
MAIL：gibasa@y-kobayashi-suisann.co.jp
<https://r.goope.jp/kobayashisuisann/about>

● 議会広報編集委員会
委員長 山本 優人
副委員長 奈良 聡子
委員 伊藤 一八
委員 笠原 吉範
委員 見上 政子

堀内新町長になり初の議会新町長の若さ溢れる力強い所信表明、7人が一般質問に登壇、森田前町長の推進する案に堀内新町長の新たな案が追加された新年度予算案の可決など、とても活発な議論が交わされた熱い議会となりました。また、WBCでの3大会ぶりの優勝、能代松陽の甲子園での1勝と、議会以外でも熱い3月となりました。5月には新型コロナウイルスも5類に移行され、町民のみなさんとの交流の場も増えていく事と思います。農業や自営業と二刀流議員の多い我々八峰町議会議員も大谷選手に負けないくらい全力で、熱い活動をしていきたいとあらためて強く感じております。(記 伊藤 一八)

編集後記

令和5年度まち・ひと・しごと創成総合戦略事業について
町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のための骨格予算を編成



令和5年度予算に解体経費が計上された旧八森小学校

予算の重点方針 (主要事業)

★仕事づくりのための産業振興

- 菌床しいたけ産業基盤強化事業
- 生薬栽培推進事業
- 地域連携DMO推進事業
- 水産業振興事業
- 雇用創出活動支援事業
- 人材育成事業

★定住・移住対策

- 定住促進用空き家改修事業
- 住まいづくり応援事業
- 情報発信強化事業



★少子化対策

- 出会いの場創出事業
- ICT教育等環境整備事業
- 子育て世代包括支援センター整備事業
- 子育て世帯負担軽減事業
- ふるさと教育推進事業

★人口減少社会への対応

- 交通空白地・交通弱者対策事業
- まちづくり活動支援事業
- 心と体の健康づくり事業



3月
定例会
ダイジェスト



議会で初登壇する堀内町長

3月定例会は3月2日(木)から17日(金)までの16日間の日程で開催し、令和5年度当初予算のほか、条例、補正予算、人事案件等39議案が上程されました。そのほか、発議5件、陳情6件を審議しました。一般質問では、7人の議員が登壇し、町政を質しました。

令和5年度一般会計予算

旧八森小学校解体事業、旧源泉施設の解体撤去、町道白神二ツ森線災害復旧事業等を盛り込んだ総額64億5200万円(前年度当初比2億1千万円増)

新年度予算は、議員11名で構成する予算特別委員会が4日間にわたり審査し、議会最終日に可否を採決しました。

見上 新たな子育て支援策がないため反対。保育料と学校給食費の無料化、高校への通学助成をすべき。

山本 少子高齢化や人口減少で、今後も厳しい財政状況が続くと予想される中、通年型予算で町民の安心・安全を担保した予算であることから賛成。

一般議案

●八峰町個人情報保護法施行条例制定について
デジタル社会の形成を図るため、全国的な共通ルールによる個人情報保護とする。

見上 デジタル関連法は、行政機関などが保有する個人情報企業が活用される仕組みとなっている。地方自治体の福祉が守られるか危惧されるので反対。

(賛成多数で原案可決)

●八峰町情報公開・個人情報保護審査会条例制定について
情報公開・個人情報保護審査会の設置等を定める。

見上 民間が審査会に参加すると、情報漏洩の恐れがあるため反対。
(賛成多数で原案可決)

(以降、すべて全員賛成で原案可決)

●八峰町情報公開条例の一部を改正する条例制定について
個人情報保護法施行条例が新規制定されることに伴う、現行条例の用語や字句の見直し。

●八峰町議会の個人情報の保護に関する条例制定について
議会の個人情報の取り扱いについて、町当局との間で差を生じさせないため。

●八峰町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
非常勤職員の育児休業の取得要件、取得回数制限の緩和等。

●八峰町の証明事務等の窓口を農業協同組合に設置する条例を廃止する条例制定について
農協でのワンストップサービスを廃止。

●定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部を改正する条例制定について
職員の定年を段階的に年齢65歳に引き上げる。

●八峰町道路占用料徴収条例の一部を改正する
条例制定について
道路占用料と固定資産税評価額の評価替え等
を反映した額に見直す。

●八峰町営住宅設置条例等の一部を改正する条
例制定について
町営住宅4戸を地域活性化住宅に変更。

●八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条
例制定について
出産育児一時金の額の見直し。

●八峰町障害者基幹相談支援センター設置条例
制定について
旧石川子ども園を「八峰町障害者基幹相談支
援センター（障害福祉施設）」として利用する。

●八峰町消防団の定員、任免、給与、服務等に
関する条例の一部を改正する条例制定につい
て
非常勤消防団員の報酬等の基準を改正。年額
報酬3万6500円、出動報酬1日8000円。

議会から町へ（質疑）

質問 改正後の報酬等の振込方法は。

答弁 個人の口座へ直接振込となる。

質問 一部で問題となっている、いわゆる幽霊
団員について町で調査したことはあるか。

答弁 町内にはないと認識している。

質問 報酬等は団ではなく個人への振込とのこ
とだが、光熱水費等の消防団の維持費について
はどのような認識か。

答弁 団員から徴収して、運営することとなる。

趣旨採択を求めます

見上 要望事項の「県民、県内25市町村が発電
所の株主となり、事業に出資する」に関しては
時期尚早と思われるが、それ以外は賛成。趣旨
採択を要望する。
(趣旨採択、採決ともに賛成少数で不採択)

採択となった陳情

●学校部活動の地域移行に関する陳情書
(提出者 加賀谷俊悦)

●米余りを解消し、食料自給率を高めるために
水稲収穫量調査の基準見直しを求める陳情書
(提出者 生き物共生農業を進める会代表 今
野茂樹)

●消費者被害を防止、救済するための特定商取
引法の抜本的改正を求める陳情書
(提出者 秋田弁護士会 会長 松本和人)
(全て全員賛成で採択)

奈良議員・謝罪と発言の削除申し入れ

議会最終日、3月14日の職員再任用制度の運
用状況に関する一般質問で、議会の政治倫理条
例で問題とする、職員個別の人事案件に関する
質疑を行ったことに対し謝罪と、会議録の一部
削除を申し入れ。
(異議なし)

賛否が分かれた議案・陳情の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案等は全て全員賛成で可決・採択されました。

	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地 薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人	皆川鉄也	議決結果
八峰町個人情報保護法施行条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
八峰町情報公開・個人情報保護審査会条例制定 について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
令和5年度八峰町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
令和5年度八峰町国民健康保険事業勘定特別 会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
令和5年度八峰町介護保険事業勘定特別会計 予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
令和5年度八峰町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
令和5年度八峰町沢目財産区特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○		可決
「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求め る陳情	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	議長は採決には加わりません	不採択
最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支 援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●		不採択
再生可能エネルギーを使った地方の人口減少 に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		不採択

●八峰町家庭的保育事業等の設備及び運営に関
する基準を定める条例の一部を改正する条例
制定について
利用乳幼児の安全確保を図る計画策定や、送
迎バスの所在確認の義務付け等。

●八峰町特定保育・保育施設及び特定地域型保
育事業の運営に関する基準を定める条例の一
部を改正する条例制定について
児童虐待の正当化の口実となる恐れのある、
施設の長の懲戒権限の規定を削除する。

●八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運
営に関する基準を定める条例の一部を改正す
る条例制定について
利用者の安全確保を図るため計画策定等を義
務化。

●八峰町の特定の事務の郵便局における取扱い
に関する郵便局の指定の取り消しについて
郵便局でのワンストップサービスを廃止。

人事案件

八峰町副町長の選任

●田村正氏(水沢・新任)
(無記名投票の結果
賛成11人 反対0人)



八峰町教育長の任命

●鈴木洋一氏(小入川・新任)
(無記名投票の結果
賛成11人 反対0人)



陳情

不採択となった陳情
●「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を
求める陳情書
(提出者 秋田県労働組合総連合 議長 越後
谷健一)

この陳情に反対します
●奈良 最低賃金は国・県、労働者および雇用側
が話し合いながら妥結した額であり、地方も都
会並みの賃金を要求するのは納得できない。

この陳情に賛成します
●奈良 コロナ禍や物価高騰等により生活が脅か
されている人が多くいる。また、最低賃金の地
域間格差は、地方の人口減少にもつながるため
賛成。

見上 最低賃金では暮らしていけず、町を出る
若者もいるため賛成。
(賛成少数で不採択)

●最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細
企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求め
る陳情書
(提出者 秋田県労働組合総連合 議長 越後
谷健一)

●再生可能エネルギーを使った地方の人口減少
に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情
(提出者 生き物共生農業を進める会代表 今
野茂樹)
(賛成少数で不採択)

◆◆ 長年町村議会議員として尽力された功績をたたえ表彰されました ◆◆



全国町村議会議長会より27年以上議員在職者として菊地薫
議員と須藤正人議員、15年以上議員在職者として見上政子議
員が表彰されました。

表彰を受けた菊地議員、須藤議員、見上議員 (左より)

質疑

(特別委員会)

新年度予算審査

ここが聞きたい!

町長から提出された令和5年度の予算案において4日間にわたり審査しました。

を、議員が構成する予算特別委員会

問 財産収入に町有土地貸付収入が80件計上されている。もっと周知し、町が保有する資産を有効活用できるような手段を講じるべき。

総務課 売払い等をしながらの有効活用を進めていきたい。

問 旧八森小の跡地を利用する計画は。

総務課 海岸に近く防災集まる施設は厳しい。太陽光発電施設の設置等、民間利用は検討。

問 賞味期限切れの防災備蓄品はどのように処理しているのか。防災カフェで防災料理に使ってみては。

総務課 賞味期限間近の備蓄品は訓練時に使用。防災カフェは令和5年度開催を検討。

問 巡回バスは土曜日も役場前を通るルートとなっているほか、現在利用者がいないルートも

問 送迎バス置き去り防止装置とは。

教育委員会 ブザーとセンサー付き車内カメラを搭載した装置。

問 給食センターの新規建築を取りやめた経緯があるが、その後の新築に向けた予定は。

教育委員会 新築の予定は無い。経年劣化による施設の小規模補修や厨房等の機械設備・器具類等の更新を進めていく。

問 児童生徒が減少する中で、将来的に給食センターで「配食サービス支援」(*)ができないか。

*配食サービス 高齢者や介護の必要な方などに食事を定期的に配達するサービス。健康な食生活や自立生活の継続などを目的とするほか、配達の際に安否確認を行う。

ある。見直しできないか。

企画財政課 東北運輸局秋田運輸支局に届出し、認められた路線を定刻通りに運行しなければならぬので、ご理解願いたい。

問 結婚支援に関する予算が引き続き計上されているが、効果は望まれると思うか。

企画財政課 結婚については、個人の問題であり非常に難しい。結婚を前面に出すと参加しづらいので、出会いの場を提供する形で取り組んでいきたい。

企画財政課 結婚については、個人の問題であり非常に難しい。結婚を前面に出すと参加しづらいので、出会いの場を提供する形で取り組んでいきたい。

問 ふるさと納税で、受ける寄附額より、他市町村への寄附額が多い自治体もあるが八峰町の現状は。

企画財政課 他市町村へは把握していない。今後は把握していきたい。

問 公債費償還のピークはいつか。

教育委員会 現状を考えると難しい。

問 半農半Xは、どんな作業に従事したか。労働力不足の解消に繋がっているか。

農林振興課 農業ではネギ、しいたけ、生葉等、漁業ではハタハタ漁など。求める労働力には、対応しきれない。

問 御所の台エリア再構築構想はこれからの八峰町の命運がかかっている。議会に情報をお知らせし、慎重に進めてほしい。

産業振興課 御所の台エリア再構築構想については、4月下旬頃には大まかなイメージができる予定であり、議会にも報告する。

企画財政課 一般処理廃棄物建設事業負担金として、令和6・7年度に借入予定の償還が始まったときに再度ピークを迎えるものと思している。

問 令和4・5年度の財政調整基金の繰入額が多いが現状は。

企画財政課 両年度で基金残高が約10億円減少の見込み。

問 湯つこうランドの利活用策は。

福祉保健課 問い合わせが1件あるが、町で改修経費を掛けるのは活用は、考えていない。

問 集団健診は、峰浜地区(峰栄館)でも行えないか。

福祉保健課 委託先との協議で、対応が難しい状況である。交通弱者は、タクシーで送迎するなど、適宜対応している。

議会からの付帯意見

令和5年度予算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、3月17日議会終了後、町長に対して付帯意見として提出しました。その内容を紹介します。なお、この意見に対する町からの回答は次号以降の議会だよりに掲載します。

意見1 今後の予算編成について

令和5年度予算の繰入金差引き後の財政調整基金残高は、21億円と大きく減少している。今後の予算編成にあたっては、施策の緊急度を的確に把握・精査した編成に努めること。

問 国民健康保険特別会計の財源見直しは。

福祉保健課 被保険者数は、毎年100人程度の減少が見込まれる。また、高齢化と医療技術の高度化等に伴い医療費は増加傾向となっている。健康寿命の延伸と健診受診率の向上を図っていく必要がある。

問 町道大沢大信田線は、大型車両の往来が多く路面の損傷が激しい。道路改良を進めるべきではないか。

建設課 交付金事業を活用し優先順位に沿って進めるので、年次計画に組み入れて対応を検討。

問 簡易水道の今後の見直しは。水道料金の値上げをしなくてもよいのか。

建設課 浄水場の統合などを検討しながら事業を進める。水道料金の値上げに関しては経営戦略等を踏まえつつ検討。

相談窓口の充実・強化に努めること。

意見3 ファガス・峰栄館の統合について

ファガスと峰栄館は、老朽化により今後も多額の維持管理費が想定される。人口減も進んでいることから2施設を統合し、新たな施設整備の検討に入る。

意見4 サイモン養殖事業について

サイモン養殖は、今後の町の漁業を展望する重要な施策である。進捗状況について議会への説明を行うこと。

意見2 認知症対策について
集団検診同様、認知症も早期発見・早期治療が重要であることから、家族がいち早く気づき、専門的治療につながるよう





笠原 吉範 議員

この3つの施策では、人口減少のスピードを抑えることは出来るが、人口を増やすことは出来ないのでは。長野県の下條村や南箕輪村、岡山県奈義町では、子育て支援や住宅支援等

笠原 施策では、人口減少のスピードを抑えることは出来るが、人口を増やすことは出来ないのでは。長野県の下條村や南箕輪村、岡山県奈義町では、子育て支援や住宅支援等

3つ目は、「洋上風力発電の促進」であり、地域の活性化や人材定着に繋がるよう、関係産業の育成支援や企業立地の促進に努める。

町長 タブレット専用端末による「出張受付窓口」事業を実施する予算を今議会に計上している。引き続き「休日受付窓口」の設置や広報等で周知するなど、取得を希望する町民への利便性を図り、交付率の向上に取り組んでいく。

町のマイナンバーカード取得率は、1月末で49.8%であり、県内25市町村中最下位である。取得向上のための施策は。

町長 町民への周知や利便性を図る

マイナンバーカード取得促進策は

を充実させ、近隣自治体のベッドタウンとして人口増となつている。八峰町も能代市のベッドタウンを目指しては。

町長 能代市のベッドタウンを目指したいと考えるが、財政等を勘案して取り組んでいきたい。



マイナンバーカード受付窓口

町長選出馬にあたり人口減少対策を最重要課題と訴えた。出馬表明から告示まで2週間あまりと短く、無投票当選であったことから、町民に向け具体策を語る事が出来なかった

笠原 町長選出馬にあたり人口減少対策を最重要課題と訴えた。出馬表明から告示まで2週間あまりと短く、無投票当選であったことから、町民に向け具体策を語る事が出来なかった

3つの施策を柱に据えて考えている。1つ目は、「農林漁業の振興」であり、菌床しいたげやネギ・大

人口減少対策の具体策は。のでは。人口減少対策の具体策は。

取り組み

2つ目は「女性が活躍できる環境づくり」であり、地域や職場で女性が個性と能力を発揮するための意識改革や経営者の理解促進に努め、役場における女性管理職への登用も検討する。

2つ目は「女性が活躍できる環境づくり」であり、地域や職場で女性が個性と能力を発揮するための意識改革や経営者の理解促進に努め、役場における女性管理職への登用も検討する。

を充実させ、近隣自治体のベッドタウンとして人口増となつている。八峰町も能代市のベッドタウンを目指しては。

町長 能代市のベッドタウンを目指したいと考えるが、財政等を勘案して取り組んでいきたい。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

7人の議員が一般質問

一般質問では7人の議員が町政について質問しました。

p 9 笠原 吉範 議員
1 人口減少対策について
2 マイナンバーカード取得促進について

p 10 山本 優人 議員
1 ワンストップサービス（総合窓口）の推進について
2 女性が住みやすいまちづくり

p 11 奈良 聡子 議員
1 職員再任用制度の運用状況について
2 文化部活動の地域移行について
3 町の記録写真や映像等の活用及び展示施設について

p 12 見上 政子 議員
1 安心して産み育てる環境を
2 巡回バスの無料は障がい者と難病患者にも
3 自衛隊への高校生の名簿提供について

p 13 伊藤 一八 議員
1 移住・定住促進のためのテレワーク施設の充実を

p 14 芦崎 達美 議員
1 小中学校の、特別教室への冷房設置について
2 「コロナ禍」における児童生徒達の健康状態について
3 今後のマスク脱着について

p 15 水木 壽保 議員
1 農家への支援について
2 埴川の河川改修について

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。本町では、効率的な議会運営のため、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。質問時間は、1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしていきます。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。



奈良 聡子 議員

奈良 職員再任用制度は年金支給年齢の引き上げに伴い、救済措置として実施されている。これまで再任用の希望は全て受け入れてきたか。また、再任用希望者の意思確認や、希望に

沿えない或いは再任用が困難な場合、当該者に説明を行なっているか。そして、総務省副大臣通知や「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に鑑みて対応しているか。

町長 3年度まで希望者全て再任用

再任用制度の運用状況は

町長 令和3年度までは再任用を希望する全ての職員を再任用している。対象者には意向調査の提出を求め、意思を確認している。希望に沿えない場合は、本人の求めに応じて説明することとしており、当該通知を踏まえて運用している。



八峰中学校吹奏楽部の練習風景

写真や映像歴史資料として活用を

町長 様々な方策を検討する

奈良

昔の町や村の様子を記録した写真や映像の多くは、町に常設の展示施設がないため、一般の目に触れる機会がほとんどない。記録映画「白神の夢」やNHKドラマ「夢の島少女」

文化部地域移行 どう実現するか

教育長 運動部と並行して検討

奈良

文化部活動の地域移行 実現性、工程等については様々な課題があり、包括的な議論が求められる。当町の文化部活

「白神の夢」やNHKドラマ「夢の島少女」もあり知られていない。町の歴史を知る資料として活用し、保管や展示施設についても



山本 優人 議員

スマホでの申請受付を

町長 デジタル化する業務を検討

山本 町民は届け出や申請の際に庁舎内を回り、その都度、住所、氏名、生年月日など何度も書かなければならない。一度に手続きが済むように申請書の様式の統一を図れば済む。窓口で行っている事務手続

きを原則1カ所で済むようにすべき。転入・転出や結婚、出生、家族の死亡など生活の変化に関わる出来事（ライフイベント）を受け付ける総合窓口を設置する必要がある。



ワンストップサービスが望まれる窓口

町長 デジタル化が進むことにより加速し、国が進める新たなクラウドの整備やマイナンバーカードの一層の普及が必要であることから、総合案内を新たに配置し、住民サービスの向上に努めたい。

山本 農業者は補助金の申請、子育て世帯は児童手当の申請等を手書きの申

請で受け付け、職員が自分のパソコンに入力する作業をしている。こんな無駄なことはない。スマホを使って申請できるシステム等を検討すべきだ。

町長 現時点では構想はないが、どんな業務がデジタル化により業務の効率に繋がるのかというところを検討したい。

LINEでの行政連絡通知を

町長 無料ならば積極導入

山本 若い女性のデジタル技術の取得を強化することで女性のスキルアップが図られ、コロナ禍で始まった在宅就労が可能となり、育児や介護などでフルタイムでの就業が難しい立場の方の収入を押し上げることができると期待している。

山本 新聞購読率が60代では8割に対して30代では3割である。新聞も見ない、町の広報も見ない、子育てに追われて見る暇もない30代、20代の女性をターゲットに、LINEアプリを利用したプッシュ型通知の導入を。

町長

「女性の経済的自立、

正規雇用で働くための就労支援」については、県や地元企業と連携し、女性と企業のマッチングの支援を検討するほか、女性の意識改革や経営者の理解促進のため、講演会の実施や町内若手女性による企業訪問等を行いたい。

町長

このプッシュ型通知は、

大変便利な機能と思う。無料でできるということであれば積極的に取り入れたい。



見上 政子 議員

保育料・給食費の無料化を

教育長 感謝の心の 障害を懸念

見上 子供を産み育てる環境が整っていないと、今後町が維持できるか問題になる。産み育てる意欲を支援するために保育料を町が100万円余り財政投入すれば全園児無料になる。

学校給食は、地産地消の大切さや地元農業

町長 これまでにない速度で人口減少と少子化が進んでおり、若い人が増やす取り組みが不可欠である。出産育児の環境改善は国・県の動向を見て施策検討する。令和2年度「子育て世代包括支援センター」を設置した。妊産婦や

乳幼児等の実態を把握し、情報提供や助言、保健指導を行っている。

巡回バス、障がい者等にも無料適用を

町長 無料は考えていない

見上 巡回バスに無料区間が設定されていたが、最優先すべきは障がい者、難病手帳を持つている方々ではないか。町内を格安で循環できるように、巡回バスとデマンド型有償運送を組み合わせ、乗り継ぎ割引料金等の運行システムを考えないか。

町長 高齢者や障がい者を対象にした移動支援事業を実施している。地域公共交通会議での意見を聞き、利用者の声を反映した事業を運営していく。障がい者等の無料は考えていない。



おらほの館で巡回バスに乗り換える利用者

見上 いつから高校生の名簿を提供したのか。その際、保護者や本人の承諾を得たのか。八峰町個人情報保護条例では本人の承諾が必要とし

ている。

総務課長 2014年から名簿提供している。縦覧を求められると除外申請はできないが、今後名簿提供に

対して生徒に適用除外申請ができることをホームページ等で周知する。

自衛隊への名簿提供 同意の上か

総務課長 除外申請可能を 周知する

テレワーク施設の 充実を 町長 可能性を検討する

伊藤 近年、テレワーク(*)という新たなワークスタイルが確立されており、フルリモート勤務に移行したり、兼業・副業を可能とする企業も増えている。また、自由度の高い働き方のフリーランスの人口は

年々増加傾向にある。町としても、通年で利用できるワーキングスペースやシェアオフィスの充実を図り、転職をしなくても移住できる環境づくりも大切ではないか。

町長 テレワークについては、新型コロナウイルスの感染拡大により注目を集めるようになったが、ウィズコロナが常態化した現在も一つの働き方として定着している。こうした中、国ではICTを活用した柔軟な働き方を支援する働き方改革を掲げ、通勤にかかる時間がなくなること家族と過ごす

時間や、趣味に充てる時間を増やすなど、公私ともに充実するライフ・ワーク・バランスの向上を推進している。町では、昨年6月から旧沢目子ども園を活用し、テレワークモニター事業を実施したところ、これまで3名が利用している。移住・定住の観点から、テレワークは非常に重要な要素であると捉え、利

用者から寄せられた意見や、半農半X事業に参加する方々の意見を参考にしながら、施設の充実を含めたテレワーク事業の可能性を検討していく。

町長 道の駅移転を含む御所の台エリア再構築に関しては、まだ計画なので、色々な意見を踏まえ進めていきたい。

伊藤 旧八森中、埴川小の空きスペースがあるが、リノベーション(*)などして今後活用する考えは。

町長 空きスペースがあるのは認識している。今年度実施したモニター事業の方々の意見を聞き、要望を含め、活用を検討していく。

伊藤 道の駅移転事業があるが、併設した施設にテレワーク施設の開設などの方法があると思うが。

*テレワーク 情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。在宅勤務のほか、移動中や旅先等も含まれる。
*リノベーション 中古の建物を現在の生活・働き方に合わせて作り変えること。



伊藤 一八 議員



空き店舗をリノベしたシェアオフィス(能代市)



芦崎 達美 議員

特別教室にも 冷房設置を

教育長 音楽室は検討

芦崎 小中学校の特別教室には冷房が設置されていないが、使用日数にかかわらず設置するべきでないか。

教育長 小中学校の空調は令和2年に「新型コロナウイルス対応地方創生臨

時交付金」を活用して普通教室に設置した。音楽室、図工室、家庭科室、技術室などの特別教室には未設置になっている。

暑さ対策は、エアコン設置教室の効果的使用や各教室への網戸設置、大型扇風機を活用している。

普通教室以外は校長室、職員室、保健室、ランチルーム、図書室、コンピューター室、特別支援教室に設置している。

芦崎 普通教室で代用できない理科教室や音楽室は設置が必要ではないか。

教育長 使用頻度の高い音楽教室は、町の財政状況をみて設置を考えていきたいと思う。理科教室は暑いときは普通教室で行っている。

使用頻度の高い音楽教室は、町の財政状況をみて設置を考えていきたいと思う。理科教室は暑いときは普通教室で行っている。

コロナ感染後の 健康状況は

教育長 若干の症状残る

芦崎 感染した児童生徒の健康状態は良好か。

教育長 感染後、療養期間が明けても腹痛症状や咳が続く児童生徒

がいたが、通常の学校生活に戻ったと考えている。

感染から回復しても再感染の例があることから、感染予防を引き続き指導していく。

マスク脱着の 学校の考えは

教育長 屋内外とも マスク着用求めない

芦崎 国は、5月から新型コロナウイルス感染症を5類に位置付けるが、学校の対応は。

教育長 本人または、家族に基礎疾患のある場合は個別にマスク着用を続けて

もよいとする。スクールバスの車中が密集する場合は、マスクの着用を推奨し、今後の感染状況によっては改めて授業などでは着用を求める等場面によって柔軟に対応していく。



マスクを外して行われた卒業式

物価高に苦しむ 農家へ支援を

町長 省エネ化支援事業で 対応

水木 ウクライナ侵攻長期化による燃油高騰や物価高で農業経営が苦しくなっている。

令和5年度からの電気料金値上げで、きのこ栽培農家の経営がさらに苦しくなると懸念される。農家への支援が必要だ。

町長 4年度に米、ネギ、菌床椎茸の種子代や資材代等の一部を助成する「農作物次期作支援事業」や、売上が減少している農家への「事業継続臨時交付金事業」を実施した。

また、生産コスト低減に繋がる機械や資材

の導入を支援する「あきたの園芸省エネ化支援事業」を今議会に提案している。

さらに県では、5年度に化学肥料の使用量低減に取り組む農家へ、価格上昇分の一部を助成する「肥料価格高騰対策事業」を実施する。国や県の支援策を注視しながら、更なる支援を強く要望していきたい。

埴川全域の 改修工事必要

町長 ハード・ソフト 一体に取り組む

水木 令和4年8月の大雨で埴川が増水し、一部の水田に被害があった。3年度に県が200mの河川改修と横内集落下流の浚渫(*)を、4年度は埴集落の上流と下流の浚渫を行なった。

町長 豪雨災害から町民を守るためには、河川改修に加え、水田貯留やハ

ードマップの作成など、ハード・ソフト一体の取り組みが重要。埴川を管理する県は、これまでに部分的な州ざらい(*)等を進めてきたほか、5年度には新たに浸水被害解消に向けて検討すると聞いている。

町長

J Aに農産物の取引価格を上げられないか要望しており、国や県にも負担軽減への取り組みを要望していく。



増水被害が心配される埴川

*浚渫 水底の土砂等をすくい取る工事
*州ざらい 中州等の流れの邪魔になるものを除去する工事



水木 壽保 議員

議会全員協議会から

2月22日に全員協議会が開催され、3件の協議と2件の報告を受けました。今回は1件の協議と2件の報告を抜粋して掲載します。

用語説明 「全員協議会」

町が新しい条例や制度、重要な施策を定める時、議会（本会議）に提出する前に議員全員に事前説明し、意見を求めるときなどに開催されます。

【協議1】 令和5年度 主要事業について

町からの説明

令和5年度に実施予定の事業内容および必要経費の説明。必要経費は新年度予算に組み込んで3月定例会に提出する。

議員から町へ（質疑・意見）

質疑 財政調整基金からの多額の繰入があり、町の借金である町債も40%の増となっている。町の財政は健



再構築が検討される御所の台エリア

全と言えるのか。無駄な予算執行のないように。

答 財政調整基金の繰入が前年同様5億円となっている。予算規模としてはもう少し少ない方が理想だが、経常経費・建物の修繕費が他町村より多くなっている。

質疑 遊休施設の解体費用が増えていく。広く公募し、二次利用を進めるべきでは。

答 旧八森小学校は現地確認を行い利活用はできないと判断。未確認の施設は今後しっかり見定め、無償譲渡等を含め検討したい。

質疑 町内会館建設事業について自治体からの要望もあるようだが、人口も減少している中で小さい規模の自治会は建物を共用することも必要ではないか。

答 人口・戸数とも減少しているが、自治会は地域コミュニティの最小単位であり、自治会館は「共助」の面でもその拠点となっているため、今後も身の丈に合った規模で進める。

質疑 三ツ森町内会館建設費は資材高騰を踏まえた額か。
答 木材が円安・ウクライナ情勢の影響で3〜4割高騰しており、それを踏まえた予算となっている。

議員から町へ（質疑・意見）

質疑 4社協定を結んだが、サーモン養殖事業は誰が経営するのか。

答 経営は地元若手漁師による八水株式会社と、日本サーモンファームがメインになると想定。

質疑 今冬の寒波でサーモンの4割が死んだとの報告があった。浅い海域であることが原因のようだが、今後も時化等に耐えられるのか。

答 深さは6〜7mで、高波で生け簀の上部が濁り、下部に魚が溜まり網にこすれたことが原因。浚渫し深さを確保するなど、国・県とも連携し成功に向け努めていきたい。

質疑 防波堤ありきではなく、中間育成施設整備も一緒に進める必要がある。また、養殖を行うおとしている区域はアワビの禁漁区でもあり、浚渫を行うことは難しい可能性もある。

答 中間育成施設整備は、泊川の南側に日本サーモンファームが建設に向けて動いている。アワビの禁漁区域については、漁協や県と確認・協議する。

質疑 時化に対応するため、岩館第2漁港から沖合に向けた防波堤も必要ではないか。

質疑 鹿の浦展望台の現在のロープの防護柵は危険。新しい柵の整備に5年かかるようだがもつと早くできないか。

答 県の自然保護課での対応となり、現時点では5年を予定しているが、短期間での設置を要望している。

質疑 新町長として何か新しい、楽しいイベントの計画は。

答 色々な施策を考えてはいる。観光面ではコロナ後にキャンプなどアウトドアにも力を入れていきたい。

質疑 令和4年産米は大幅に収量が落ち込んだ他、米価も上がらず肥料代も高騰した。令和4年の「ナラシ対策（*）」の見込みと農家への特別支援は。

答 地域の作況指数は94だったが他では100となっているため「ナラシ対策」は発動されないと考える。町独自の支援の予定は無い。

*ナラシ対策 米などの価格が下落したり、収量が落ち込んだことで収入が減った際に利用できる保険的の制度。収入減少影響緩和交付金のこと。

ギバサ繁殖の研究活動の報告がありました

2月2日に、町の漁業者でつくる北部ギバサ増殖会から、ギバサの増殖への取り組みについて研究発表がありました。

北部ギバサ増殖会では、ギバサの漁場の減少を実感したことで、県の水産振興センターの指導も受けながら海底観察、ギバサが定着する岩肌の付着物除去（磯のしば刈り）等の資源管理を強化したそうです。八峰町の豊かな海、磯根資源を守り育てる素晴らしい内容でした。

この研究結果は、3月に東京で開かれた「全国青年・女性漁業者交流大会」で水産庁長官賞と全国水産試験場長会会長賞を受賞されました。



【報告1】 御所の台エリア 再構築構想の 進捗状況について

町からの説明

道の駅はちもりの御所の台エリアへの移転を踏まえ、国際航業（株）秋田営業所に委託している再構築構想について、全体的なイメージが堀内町長の考えと違っていたため、履行期間を延長し再考を求めている。施設等ハード面を重視した計画ではなく、道の駅としての魅力づくりが重要と考えている。

議員から町へ（質疑・意見）

意見 行政視察した群馬県の道の駅川場田園プラザでは「ぶれないテーマと人づくり」を最重要テーマとしていた。当町もそういった想いで進めてもらいたい。

質疑 履行期間が3カ月伸びているので、地元関係者とのヒアリングをもう一度開催しても良いのでは。

答 現在までWEBアンケートや関係機関とのワークショップ等を行っており、ヒアリングは現在のところ予定していない。

【報告2】

サーモン養殖事業 四者協定について

町からの説明

令和4年12月13日、秋田県漁業協同組合と、日本サーモンファーム（青森県）、秋田県、八峰町の4者で、水産業の振興、地域の活性化を目的として、サーモン養殖事業の拡大に連携して取り組む協定を結んだ。

今月の表紙 みんなで登校



スクールバスで初登校する八森小学校新一年生です。